

質問回答書

(2021年度豊岡観光データ収集基盤開発及びダッシュボード作成業務)

2021年9月10日公表

No.	文書	頁	質問内容	回答
1	仕様書	1	「開発としてアジャイル形式によるスクラム型開発を採用」との記載は、2022年度以降の開発体制が組めることでの理解で良いでしょうか。2021年度はリリースまでを要件とし、「アジャイル形式によるスクラム型開発」はリリース後の体制と考えて良いでしょうか。	まず、単年度単位の契約となりますので、2022年度以降の開発体制については、2022年度事業の状況及び契約内容によります。また、「アジャイル形式によるスクラム型開発」は2021年度のデータ収集基盤及びダッシュボードの開発準備、開発段階、リリース後の体制を含みます。2022年度以降も協議会と事業者の協議を通じ、機能の追加や修正等を依頼する場合があります。
2	仕様書	1	「拡張性を担保する設計や開発方法を意識」という長期ビジョンへの対応・データの利活用のため、複数年にわたりご利用いただくべきシステムと考えますが、体制や仕組みの維持を継続するためには、複数年の契約が望ましいと考えますが、複数年の契約は可能でしょうか。	契約は2022年3月までの単年度です。2022年度以降もデータ収集・活用事業を継続予定です。その際は改めて事業者を選定・契約する予定です。
3	仕様書	2	「サイトコントローラー、PMSを増やすように最大限努力」の内容について、どのようなことを行うことをご期待されていますでしょうか？たとえば、来年度以降の取り組みの内容や費用についてのご提示が必要と考えるべきでしょうか。	仕様書記載のPMSやサイトコントローラーに限らず、収集できるPMSやサイトコントローラーの種類を増やすことで、より多くの宿泊施設のデータを収集することに努めてください。また、要綱5頁9(1)にある通り、見積書には2022年度以降に基盤運用にかかるランニングコストについても概算を明記してください。

No.	文書	頁	質問内容	回 答
4	仕様書	2	R P Aを利用する提案とした場合、各サイトコンローラーおよび各PMSの仕様を理解するため、利用ユーザー様ないしは各ベンダーからの説明をいただく必要があると考えます。これらの当社外の稼働に関する費用は本提案の費用範囲外とする、でよろしいでしょうか。	利用ユーザーや各ベンダーの仕様理解、状況把握に関する費用についても、本提案の範囲内に含まれます。
5	仕様書	2	以下のそれぞれの施設の数をご教示いただけますでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PMS（ご提示の4システム）を利用している施設数 ・ PMS（ご教示の4システム以外）を利用している施設数 ・ サイトコントローラー（ご提示の3システム）を利用している施設数 ・ サイトコントローラー（ご提示の3システム以外）を利用している施設数 ・ 上記にあてはまらない（PMSもサイトコントローラーも利用していない）施設数 	今年度の事業対象エリアは、豊岡市内の主な観光地である城崎温泉での連携を主に想定しています。城崎温泉旅館約70施設のうち、当初は40施設程度のデータ収集からスタートし、徐々に施設を増やす想定です。2021年6月時点で当法人が把握している21施設の状況は以下の通りです。 ①仕様書記載の4 PMS利用：17施設 ②仕様書記載外のPMS利用：3施設 ③仕様書記載の3 サイトコントローラー利用：18施設 ④仕様書記載外のサイトコントローラー利用：2施設 ⑤PMSもサイトコントローラーも利用なし：1施設
6	仕様書	6	コスト面・移動時間の面から、15回開催される協議会のうち、ポイントとなる打合せは対面参加とし、一部オンラインによる参加という変動的な進め方も可能でしょうか。	仕様書6頁17(3)にある通り、原則対面での打ち合わせとなります。ただし、協議会の判断により、適宜オンラインによる参加も可能とします。 また、協議会が必要と判断する会議には迅速に対面参加できるような体制を整えていただくようお願いします。

以上